

研究名：小児施設での海外からの高度薬剤耐性菌持込対策におけるスクリーニング検査の検討

1．研究の目的

医療機関は海外からの高度耐性菌の持込への備えが必要ですが、小児において、海外での入院歴や生活歴がある方の耐性菌の持込に備えたスクリーニング検査の基準について検討された報告は少ないため、これまでの当センターでの実績を調査することで、検査対象基準の見直しが必要かを検討し、感染対策に役立てることを目的としています。

2．研究の方法

研究対象：当センターに受診した患者さんのうち、海外からの耐性菌の持込に備えた便または肛門ぬぐいによるスクリーニング検査（以下、「海外耐性菌スクリーニング検査」という。）の対象となった20歳未満の方。

[期間ごとの検査基準]

2013年12月から2019年4月まで：国・地域を問わず海外の医療機関での入院歴があるか、海外（アジア・アフリカ）で2か月以上連続した生活歴があり、海外耐性菌スクリーニング検査を実施された方

2019年5月以降2021年8月まで：当院受診日から遡り過去3年以内に国・地域を問わず海外の医療機関での入院歴があるか、海外（アジア・アフリカ）で2か月以上連続した生活歴があり、海外耐性菌スクリーニング検査を実施された方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2022年3月

研究方法：研究対象に含まれる患者さんの医療情報（以下の3.に記載する情報）を後方視的に集積し、解析いたします。

3．研究に用いる情報の種類

年齢（生年月）、性別、基礎疾患、海外渡航歴・滞在歴（海外医療機関の入院歴、滞在歴
滞在国、滞在期間）、検査データ等

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報には調査対象ではな

く、個人情報^①は保守されます。

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学术论文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、**2021年12月31日までに**下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 感染症科 船木孝則

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7866）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 感染症科 船木孝則